

## はじめに

中小企業は、高度なモノ作り技術によりわが国産業の国際競争力を支える経済活動の源泉となっています。

また、規模は小さくても、モノ作りを通じ地域経済に貢献している企業、社会的課題に対応して新規分野を開拓している企業などが存在します。

普段は目に触れにくいものの、こうした重要な役割を果たしているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対してわかりやすく示すことにより、選定された中小企業の事業機会の拡大や活力の高まり、他の中小企業の一層の奮起、若年層を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなることを期待して、2006年より「元気なモノ作り中小企業300社」を選定してきました。

九州の選定企業も91社と100社目前となりましたが、このなかから、政府が2005年に創設した「ものづくり日本大賞」で内閣総理大臣賞をはじめとする各賞に11件が輝くなど、その技術力の高さが証明されています。

また、300社選定により、認知度が高まったため事業機会が拡大した、社員の士気が上がり活力が増した等の好循環も生まれてきているようです。

当課に於いても、過去の選定企業に対する問い合わせが多く、この機会に、これまでの選定企業を一挙に紹介する「九州モノ作りの系譜」を刊行することに致しました。

その紙面から選定企業がどのようにビジネスチャンスをつかみ、どのように技術を習得し活かしていったのか、そのモノ作りに対する精神（心）を受け止めていただき、事業発展の糧として頂くことを願っております。

九州経済産業局は、これからも地域技術開発支援事業等をつうじ、「モノ作り」企業の支援を行って参りますので、お気軽にご相談下さい。

平成22年3月  
九州経済産業局製造産業課